

# パーキンソン病の主な治療薬

監修：医療法人育生会 篠塚病院附属 北関東神経疾患センターセンター長 田中 真 先生

## レボドパ含有製剤

**<作用>** ドパミンの前駆物質レボドパは脳内でドパミンに変わり、不足しているドパミンを補います。レボドパだけの単剤と、レボドパを飲んだとき体内でレボドパが分解されるのを抑える薬とを組み合わせた合剤があります。

**<重大な副作用>** 悪性症候群、錯乱、幻覚、抑うつ、胃潰瘍・十二指腸潰瘍の悪化、溶血性貧血、突発的睡眠

## 単 剤



## 合 剤



## ドパミン受容体作動薬 (ドパミンアゴニスト)

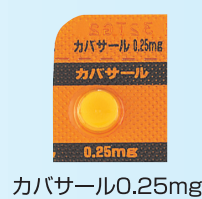
**<作用>** 脳内でドパミンを受け取る場所(受容体)を直接刺激し、その働きを高めます。

### <重大な副作用>

麦角系：悪性症候群、胸膜炎、心膜炎、胸膜線維症、幻覚、妄想、せん妄、後腹膜線維症、突発的睡眠

非麦角系：突発的睡眠、悪性症候群、幻覚、妄想、せん妄、錯乱

## 麦角系



## 非麦角系



## ドーパミン放出促進薬 (塩酸アママンタジン)

<作用>神経細胞からのドーパミンの放出を促進します。また、放出したドーパミンの再取り込みを抑制する働きもあるといわれています。

<重大な副作用>悪性症候群、皮膚粘膜眼症候群、中毒性表皮壊死症、視力低下を伴うびまん性表在性角膜炎、角膜上皮浮腫様症状、心不全、肝機能障害、腎障害、意識障害(昏睡を含む)、精神症状(幻覚、妄想、せん妄、錯乱等)、痙攣、ミオクロヌス



シメトレル50mg



シメトレル100mg

## 酵素阻害薬

・MAO-B阻害薬

<作用>ドーパミンを代謝する酵素の働きを抑え、ドーパミンを有効利用します。レボドパの減量に有効です。

<重大な副作用>幻覚、妄想、錯乱、せん妄、狭心症、悪性症候群、低血糖、胃潰瘍

・COMT阻害薬

<作用>レボドパを代謝する酵素の働きを抑え、レボドパを有効利用します。レボドパの減量に有効です。

<重大な副作用>悪性症候群、横紋筋融解症、突発的睡眠、幻覚、幻視、幻聴、錯乱、肝機能障害

## MAO-B阻害薬



エフピーOD2.5mg

## COMT阻害薬



コムタン100mg

## 抗コリン薬

<作用>パーキンソン病ではドーパミンが減少することによって神経伝達物質アセチルコリンとのバランスが崩れ、アセチルコリンの働きが強くなっています。抗コリン薬はアセチルコリンの働きを抑えて、バランスを調整します。

<重大な副作用>悪性症候群



アテン2mg アキネトン1mg トリモール2mg ペントナ4mg



パーキン10mg パーキン50mg コリンホール2.5mg

## ノルアドレナリン補充薬

<作用>ノルアドレナリンの前駆物質ドロキシドパは脳内でノルアドレナリンに変わり、パーキンソン病の進行とともに不足してくるノルアドレナリンを補います。すくみ足に有効です。

<重大な副作用>悪性症候群、白血球減少、無顆粒球症、好中球減少、血小板減少



ドプス100mg



ドプス200mg

## レボドパ賦活薬

<作用>チロシンからレボドパへの代謝に関わるチロシン水酸化酵素の活性を上昇させ、脳内のドーパミンを増やします。レボドパをはじめ、他の治療薬を使用した後に併用されます。振戦に有効といわれています。

<重大な副作用>悪性症候群、皮膚粘膜眼症候群、過敏症候群、再生不良性貧血、無顆粒球症、赤芽球癆、血小板減少、急性腎不全、間質性肺炎、肝機能障害、横紋筋融解症、腎・尿路結石、発汗減少に伴う熱中症、幻覚、妄想、錯乱、せん妄



トレリーフ25mg

●企画●

株式会社キューオーエル研究所  
東京都千代田区有楽町1丁目9番1号

●編集・制作●

株式会社ライフ・サイエンス  
東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山  
TEL 03-3407-8963 (代)

2009年8月 第4版 第2刷発行